

Reports Schdeuler – プロパティ

このセクションでは、Reports Scheduler – プロパティファイル設定に関する情報を提供します。

report_scheduler.propertiesファイル設定

データベース – DB URL は'db' 相対フォルダ内の
report_schedulerデータベースを指します:

メモリDB の場合は、jdbc:hsqldb:mem:testdb を使用できません。

db.url=jdbc:hsqldb:file:data/report_scheduler
db.schema=REPORT_SCHEDULER
db.username=SA
db.password=2
db.pool.size=2

注意 :ご希望のDBを使用する場合、例えばMySQLやSQL Serverの場合、JDBCドライバとJDBCドライバを使用するためのクラスパス設定が必要です。

Reports Schedulerは、OpenLM ServerからSMTP設定を読み取ります。Reports SchedulerがOpenLM Serverにアクセスできない場合は、以下のSMTP設定を使用できます。

メール – メールサーバーからの詳細なエラーメッセージに便利です:

mail.debug=false
mail.smtp.host=localhost
mail.smtp.port=25



mail.smtp.auth=false
mail.smtp.ssl=false
mail.smtp.username=
mail.smtp.password=
mail.smtp.sender=openlm@openlm.com
mail.sending.tries=5
mail.sending.try.timeout=3000

エラー通知を送信する電子メールをセミコロンで区切りリスト化:

例: recipient1@openlm.com;recipient2@openlm.com

mail.recipients=

OpenLM:

openlm.connect.retries=5
openlm.protocol=http
openlm.host=localhost
openlm.soap.port=5015
openlm.ea.port=5015
openlm.ea.protocol=http
openlm.client.id=openlm.reportscheduler.client
openlm.client.secret=reportscheduler_secret
openlm.client.scope=openlm.server.scope

Scheduler – 1度起動したジョブの開始遅延時間 (秒単位):

scheduler.default.delay=30



生成されたファイルのコピー先ディレクトリ:

Windows のバックスラッシュパスは、エスケープするかスラッシュに変換する必要があります。

例 : C:\\OpenLM\\Scheduler または C:/OpenLM/Scheduler

現在のドライブルートに対する相対パスを使用できます。

例: /OpenLM/Scheduler

```
scheduler.report.files.directory=
```

HTTP Server:

```
server.address=0.0.0.0
```

```
server.port=8888
```

```
server.context.path=report_scheduler
```

```
browser.path=chromium/chrome.exe
```

Webdriver:

```
webdriver.debug.mode=false
```

Chromeウェブドライバの実行可能ファイルへのパス (システム依存なので、通常は CMDパラメータとして指定されます):

```
webdriver.impl.path=chromedriver.exe
```

注意: Reports SchedulerはLinuxオペレーティングシステムではサポートされていません。

Webドライバが起動するポート:

```
webdriver.port=3400
```

```
webdriver.free.port.tries=2
```

```
webdriver.log.level=INFO
```



秒 - 非同期ソースが読み込まれる間、Webドライバが待機する期間:

```
webdriver.page.default.timeout=120
```

```
webdriver.page.switch.timeout=5
```

ピクセル:

```
webdriver.page.size.width=1366
```

```
webdriver.page.size.height=768
```

注意: Jarファイルには、すべてのパラメータのデフォルト設定値を保持するオリジナルのプロパティファイル（内部）が格納されています。このファイルは、Reports Schedulerの新しいバージョンへのアップグレードで更新されます。

ユーザーは外部プロパティファイル (report_scheduler.properties) を編集できます。このファイルは、Reports Schedulerが新しいバージョンへアップグレードされても更新されません。プログラムは外部プロパティファイルに構成値がない場合、内部プロパティファイルで設定された既定の構成値から欠落値を取得します。

+81 (0)50 5893 6263

sales@openlm.com

